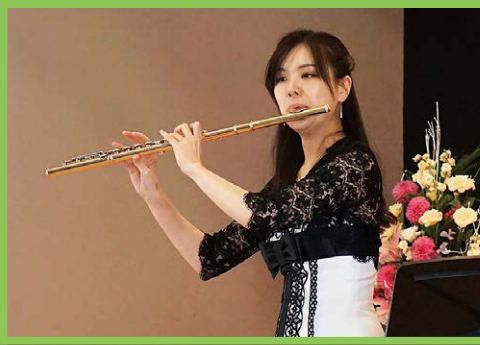


女性音楽家2人がダブル受賞、コンサートも行われた「第5回グラチア音楽賞」(3面に関連記事)

旭川荘だより

vol. 234

2018.01.01 発行

CONTENTS

P3 医療福祉学会開催
P4 第8回アートギャラリー展
P6 手づくり茶碗でお茶会
P8 今西看護部長に「ねむの木賞」

発行／社会福祉法人 旭川荘
〒703-8555 岡山市北区祇園866
TEL 086-275-0131 FAX 086-275-5640
http://www.asahigawasou.or.jp

かわかみ療護園で開催された“幻想庭園”(7面に関連記事)

持続可能な開発目標（SDGs）と旭川荘

理事長　末光　茂

2015年、日本を含む国連の全193加盟国は、経済成長、社会的包摂、環境保護という3要素を調和させ、より持続可能な世界を構築するため、2030年を目標とした「持続可能な開発目標（SDGs）」を採択しました。

SDGsは、17分野、169のターゲットを決め、2030年までに達成すべきゴールを示しています。なかでも子どもの貧困、教育、健康等が大きなテーマです。それらに取り組むための議論が、各方面で高まっています。

例えば第13回環境福祉学会（11月26日）では、小林正明前環境事務次官がSDGsに関する環境福祉面の課題と先駆的な地域での取り組みを紹介しました。

岡山市では12月5～7日、SDGsの達成に向けた「国際会議」がもたれ、20カ国の代表が「持続可能な生産と消費」などに関する活発な議論を行うとともに、真庭市での自然エネルギー発電事業等を視察しています。

それらに先立つ11月13日～16日、タイ・バンコクで開かれた「国際知的・発達障害学会アジア大洋州地区会議」では、ユネスコの林川眞紀氏が、SDGsのうち教育、わけても障害児分野の世界的な取り組みと、アジア各国の課題を紹介しました。

旭川荘は、すでに10か年計画等、中期的な目標を定め、時代と地域の求めに応える現場実践を組織的に進めつつあります。それにこのSDGsの視点を加え、さらなる検討と日々の活動の積み重ねが求められていると考えます。旭川荘そのものの持続可能な発展目標と役割の共有です。

そのためには旭川荘の創立理念を継承するとともに、現状に安住することなく、SDGsの「平和で公正かつ包摂的な社会」「誰一人取り残されない」という理念の一翼を担う視点でのチャレンジが不可欠です。女性の活躍の推進、アジアの高齢化、障害者の高等教育、環境福祉への対応などが特に期待されています。新しい年も心新たに取り組みます。

新年のご挨拶

旭川荘友の会　会長　延原　正

新年を迎え、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

日本は少子高齢化が進行し、医療や福祉の環境は厳しさを増しています。社会福祉法人のあり方についても大きな改革がありました。正しい舵取りがますます重要となっています。

そうした中で、県民の求めに応えようと、新しく「カレッジ」や保育所を整備し、サービスの向上を目指す旭川荘は、正しく歩んでおられるのではないでしょうか。

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、障害者スポーツ、アートへの関心も高まっています。旭川荘がずっと大切にされてきた「文化性」が、花開くときでもあります。

「徳は孤ならず、必ず隣あり」。旭川荘のたゆまざる営みを、友の会も末永くご支援いたしたいと存じます。

旭川荘家族会等連絡協議会　副会長　守屋八洲夫

平成30年となり、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

私は愛育寮家族会会長でもありまして、協議会の副会長でもあります。愛育寮家族会会長に10年前に就任し、その節私が皆さんにお話ししたことは「現在をいかに大事に、また一生懸命に生きるか」ということです。毎日、毎日が充実した人生を送る。それが好きです。

また①愛育寮利用者、②旭川荘の職員、③家族会、この三者が一体となってお互い話し合い、意見が言える、三位一体がうまくいくよう全力で頑張ります、ということを心に刻みました。

最後になりましたが、皆様が健康で笑顔で今年も大いに頑張り、充実した毎日をおくりましょう。感謝。

グラチア音楽賞に竹山愛さん、遠藤真理さん 厚生専門学院でコンサート

「第5回グラチア音楽賞」の授賞式・受賞記念コンサートが12月5日、旭川荘厚生専門学院であり、フルート奏者・竹山愛さん、チェロ奏者・遠藤真理さんの受賞者2人が、旭川荘の利用者や職員、学生ら約300人を前に演奏を行いました。

同音楽賞は「グラチア・アート・プロジェクト」(★注)の活動の一つで、若い世代の演奏家の中で、人間の生き方や哲学に強い関心を持っている逸材を発掘する目的で創設。毎年12月に受賞者によるコンサートを開催しています。

授賞式では末光茂理事長から竹山さん、遠藤さんに賞状が授与され、同プロジェクトを提唱した瀧井敬子さん(元東京藝術大学特任教授)から副賞が贈呈されました。

フルートを奏でる竹山さん

続いて行われたコンサートでは竹山さん、遠藤さんがそれぞれフルート、チェロの超絶技巧を織り交ぜたソロ演奏で聴衆を魅了。ピアニストの佐野隆哉さん(第3回グラチア音楽賞受賞)が“クロイツァーゆかりのピアノ”で伴奏しました。最後は3人がそろい「愛の挨拶」「アヴェ・マリア」をアンサンブルで披露。会場から大きな拍手が送られました。

演奏直後、ポーズを決める遠藤さん(右)と佐野さん

カレッジ旭川荘の女性利用者は「プロの演奏を聴くのは初めて。2曲目のフルートのソロ演奏はテンポがよく、聴いていてとても楽しかった」と話していました。

★注:グラチア・アート・プロジェクト

旭川荘の利用者、職員らがアートを媒体として「笑顔を共有する場」をつくることを目的とした企画。旭川荘が所有する“クロイツァーゆかりのピアノ”を発見した瀧井敬子さんが故・江草安彦名誉理事長と話し合いを重ね、平成25年に創設。ピアノの修復やコンサートなどを行い、27年3月の旭川荘60周年記念オペラも協賛した。

第35回旭川荘医療福祉学会 佛子園理事長雄谷氏が特別講演

第35回旭川荘医療福祉学会が12月7、8日の2日間にわたり、旭川荘療育・医療センター多目的ホールで開催されました。

初日は「いま、『ごちゃまぜ』がおもしろい!~地域共生社会の持つ可能性~」と題して、社会福祉法人佛子園(石川県白山市)理事長の雄谷良成(おおやりょうせい)氏が講演しました。雄谷氏は温泉やカフェなどを併設した同法人の福祉施設を例に、障害の有無や年齢にかかわらず多くの人が「ごちゃまぜ」に集うことでつながりが生まれ、人も町も元気になることを紹介。地域共生社会の一つのモデルを示しました。

特別講演に雄谷氏が登壇した医療福祉学会

今年の医療福祉学会は一般演題41題の発表があり、第32回前田研究奨励賞には旭川荘総合研究所の川北敬子特別研究員らによる「旭川荘における看護職者の職務満足度調査」、かえで寮の濵口喜直寮長らによる「地域に求められる社会福祉施設とは~居場所つくりの取組み~」の2題が選ばれました。このほか、障害のある人の自傷行為に焦点をあてたシンポジウムが行われ、各施設の取り組みに対して、末光理事長から「自傷行為の部位は発達段階と関係がある。体のどの部分を自傷しているのか、見直してほしい」と助言がありました。

2日目昼の交流会ではボッチャの紹介も

また、2日目の昼休憩にはパンと飲み物が用意され、ランチをとりながら発表内容について意見交換するなど、職員同士の交流の輪ができました。

※雄谷氏の講演については次号で詳しくお伝えします。

第8回アートギャラリー展　受賞作品決定

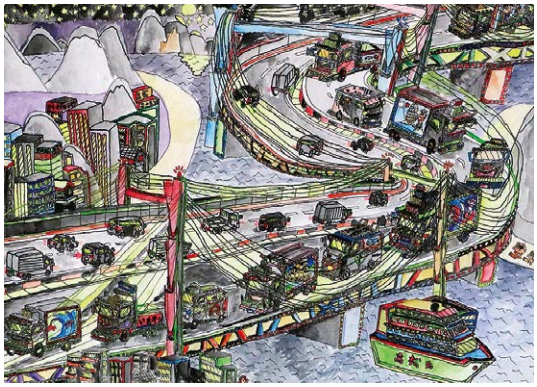
旭川荘アートギャラリーは11月29日、「第8回アートギャラリー展」の受賞作品を発表しました。今回は荘内18施設165人から316点の応募があり、審査の結果、以下の14点が選ばれました。

同日開催された表彰式では、末光茂理事長が出席した受賞者4人に表彰状と記念品を手渡し「賞を励みに精進してください」とあいさつ。続いて、最優秀の「江草安彦賞」に選ばれたデイセンターあかしやの武鑓雅弘さんが「賞をもらえて嬉しい。また絵を描きます」と述べると、出席者から大きな拍手が送られました。

本展では、入賞作品を含む70点を展示しており、2月23日までの会期中、平日午前9時から午後4時まで、入場無料でご覧いただけます。

作品と一緒に記念撮影する受賞者（前列）ら

江草安彦賞「メロディに乗せて」
武鑓 雅弘さん（デイセンターあかしや）



旭川荘友の会会長賞
「夜景と光り輝く瀬戸大橋をデコトラが行く」
物部 紘二郎さん（望の丘ワークセンター）

理事長賞
「ロボット」
平井 崇裕さん
（旭川学園）

岡山県食品卸同業会会長賞「チューリップ」
磯野 雄志さん（デイセンターあかしや）

特　選

「線とマル」	土居 登久夫さん	（いづみ寮）
「青虫地面におるんや」	大岡 新さん	（デイセンターあかしや）
「航空ショー」	青木 孝雄さん	（デイセンターあかしや）
「好きな数字アレンジバージョン」	渡辺 充雄さん	（デイセンターあかしや）
「祭・クライマックス」	橘 邦彦さん	（デイセンターあかしや）
「倉敷 家族と一緒に」	糸濵 とし子さん	（のぞみ寮）
「みかん狩り」	中山 正光さん	（のぞみ寮）
「ハカラーミックス」	藤田 真由さん	（旭川荘真庭地域センター）
「サーカスが来た」	菅 規久子さん	（竜ノ口寮）

アートギャラリー名誉館長賞「Sou」
守谷 一男さん（いづみ寮）

お問い合わせ：旭川荘アートギャラリー　岡山市北区祇園866（旭川学園隣）　電話086-275-4647

イオンで「あいサポートフェスタ」旭川荘の製品、アート作品も紹介

障害のある人たちのアート作品の展示や、福祉施設で作った製品を販売する「あいサポートフェスタ2017」が11月30日と12月1日の2日間、イオンモール岡山（岡山市北区下石井）で開かれ、旭川荘からも製品や利用者作品などを多数出品しました。

同フェスタは岡山県と県知的障害者福祉協会、県セルプセンターが、障害者週間（12月3～9日）に合わせて毎年この時期に実施。今年は「農業」と「福祉」の連携によって生まれた製品を紹介する農福連携コーナーも新設され、注目を集めました。

県内36事業所の製品が並ぶ販売コーナーは、手作り雑貨や菓子などを選ぶ買い物客らでにぎわい、旭川荘もあおば、望の丘ワークセンター、いづみ寮など参加8施設の職員が出て、ストラップやりんごジャム、陶器などの“一押し製品”をPR。また、同コーナーの一角では、吉備ワークホームがイノシシ革を使ってアクセサリーなどを作るワークショップを行いました。

イノシシ革を使ったワークショップも好評

会場では「障害者アート展」もあり、絵画や切り絵、立体作品など約70点を展示。旭川荘利用者の作品15点も並び、来場者の目を引いていました。

なお、「障害者アート展」は12月6日から10日まで、ルネスホール（同市北区内山下）に会場を移して開催されました。

各施設の一押し製品が並ぶ販売コーナー

ステージではボッチャのデモンストレーションも行われた

ルネスホールでも開催された「障害者アート展」

三井住友信託銀行で初の移動展 旭川荘アートギャラリー

旭川荘利用者のアート作品を荘外へ出張展示する「アートギャラリー移動展」が、12月7日から新たに三井住友信託銀行岡山支店（岡山市北区駅元町）で始まりました。1月31日まで開催しており、平日の窓口営業時間中（午前9時～午後3時）は自由に鑑賞できます。

同支店は岡山駅東口のホテルグランヴィア岡山の地下1階にあり、待合スペースを利用して、県内のボランティアや文化団体の活動などを紹介するロビー展を随時開催しています。今回の移動展は「アートギャラリーの作品をロビー展で紹介したい」との同支店からの“オファー”を受け、実現しました。

展示しているのは水彩絵の具やパステルで描いた絵画6点。瀬戸大橋や富士山などを独自の視点でとらえ色鮮やかに描いた作品が並び、待合スペースに彩りを添えています。

移動展はこれまでに県内外の美術館やギャラリー、病院などで行っており、金融機関での展示はトマト銀行、みずほ証券、中国銀行（いずれも岡山市内）に続いて4カ所目になります。

三井住友信託銀行岡山支店で開催中の「アートギャラリー移動展」

手づくり茶碗で抹茶満喫
いづみ寮窯業班、初のお茶会

いづみ寮で12月12日、自作の茶碗で抹茶を味わう「お茶会」が初めて開かれ、窯業班と通所部の利用者19人が参加しました。

お茶会は、窯業班を担当する支援員の長島慶明さんが「日ごろ陶器の製造に携わる利用者に器を使う楽しみを体験してもらいたい」と企画。通所部にも呼びかけ、昨年6月から器づくりの準備をすすめてきました。

茶碗は作業の合間を利用して1人1点ずつ制作。手びねりで成形し、素焼きした後に青や白、茶色の釉薬で絵付けしました。11月末までに順次窯で焼き上げ、側面に花柄やストライプ、人の顔などが描かれた大小さまざまな茶碗が完成しました。

手づくり茶碗の数々

この日のお茶会は、寮内で茶道経験のある職員も協力。最初に長島さんが客を招いて茶を楽しむ「茶の湯」が日本独特の文化であることを説明し、職員がお点前を披露。利用者は生菓子を口にしてから、職員が順番にたてた抹茶を味わいました。

利用者に作法を教える職員

窯業班の守谷一男さんは「自分が作った茶碗で飲むと最高においしい。お茶をたててもらい気持ちが引き締まった」と2杯の抹茶を満喫。長島さんは「お茶会が利用者の励みになったのなら嬉しい。継続した活動にしていきたい」と話しています。

抹茶を味わう参加者

竜ノ口寮の七宝焼き、職員紹介ボードに
利用者がタイル制作

竜ノ口寮の玄関に、七宝焼きタイルを使った「職員紹介ボード」がお目見えしました。タイルは同寮の七宝焼き教室に参加する利用者が手づくりしたもので、訪れる人を温かく迎えています。

七宝焼きのタイル51枚がレイアウトされた職員紹介ボード

職員紹介ボードは縦約90センチ、横約60センチのパネル4枚からなり、10センチ四方の七宝焼きタイル約50枚と全職員76人の写真カードをレイアウトしています。タイルはパステルカラーのものが多く、水玉模様がボードにアクセントを添えています。タイルの裏にはマグネットが貼ってあり、ボード上で自由に並べ替えることもできます。

職員紹介ボードに七宝焼きを取り入れるアイデアは中町眞也寮長が発案し、七宝焼き教室の参加者たちと相談。タイル制作は七宝焼き講師の丸山昌子さんの指導のもと、利用者約10人が銅版の表と裏に釉薬を施す「絵付け」を担当しました。先が細くなった木の棒で銅板に釉薬を塗ったり、ピンセットで「ガラスフリット」と呼ばれる粒状の釉薬を並べたりしてデザインし、電気炉で焼いて仕上げました。制作に参加した實平早苗さんは「みんなと一緒に楽しく作れた。作品を多くの人に見てもらいたい」と語ってくれました。

七宝焼き教室の風景＝12月14日

同教室では現在、今年3月に竣工する新棟浴室の一部に使うタイルを制作中。中町寮長は「今後も新しくできる建物の中に利用者の七宝焼きを取り入れていきたい」と話しています。

七宝焼き作品の一部

えいごde福祉 ～英訳法律文から学ぶ用語と表現～ 12

専門職名について

本年最初の英語de福祉は「専門職名」をテーマにしました。一般的にもよく知られている医師・看護師以外の仕事を集めてみました。医療系と福祉系に分けてまとめてみると、医療系は～ist、福祉系は～erという表現が多いことが分かります。

医療従事者　medical professionals
作業療法士　occupational therapist
臨床検査技師　medical technologist
臨床工学技師　clinical engineering technologist
視能訓練士　orthoptist
管理栄養士　registered dietitian
介護福祉士　care worker
保育士　nursery teacher
社会福祉士　social worker
理学療法士　physical therapist
言語聴覚士　speech therapist
診療放射線技師　radiological technologist
歯科衛生士　dental hygienist
薬剤師　pharmacist
介護従事者　care giver
介護支援専門員　care manager
精神保健福祉士　psychiatric social worker
手話通訳士　sign language interpreter

専門職名を英訳して伝えるときに、注意するべき点がひとつあります。それは、国によって医療・福祉制度が異なるので、われわれ日本人がイメージする仕事内容と外国の人が思い浮かべる仕事内容が食い違う可能性があるということです。正確なコミュニケーションを行いたいときには、仕事の具体的な内容や業務の範囲まで説明した方が良いと思われます。

（広報委員・総合研究所主任研究員　後藤祐之）

かわかみ療護園で“幻想庭園” 灯篭100基、敷地内照らす

かわかみ療護園（高梁市川上町）で11月26日、敷地内の庭を100基の灯篭で彩る“幻想庭園”が開催され、利用者らが幻想的な雰囲気を堪能しました。

この試みは、お盆に鳥取県の大山寺で開催されているイベント「和傘灯り」の美しさに感銘を受けた清水裕江園長が「夜の外出が難しい利用者さんにも楽しんでもらいたい」と初めて企画。同園で講師を務める陶芸家・田邊典子さんの協力を得て、昨年9月に同市成羽町吹屋地区であった「ベンガラ灯り」で使用した灯篭の一部を借りて行いました。

当日は利用者と職員計40人のほか、地域住民13人も参加。日没後、灯篭にろうそくの火が灯されると、庭園一帯に幻想的な光景が広がり、参加者の間から「とてもきれい」「すてき」などの声が上がりました。利用者は庭に出て写真を撮ったり、部屋の窓越しに静かに眺めたりするなど、思い思いに楽しみました。

清水園長は「利用者にも地域の方にも好評だった。次回はみんなで手づくりした灯篭を並べたい」と話しています。

敷地内を照らす灯篭。周囲の木々も投光器でライトアップ

高台から眺めると違った雰囲気に

中電工が清掃奉仕　ひらた旭川荘

ひらた旭川荘で12月3日、中電工の皆さんによる秋の清掃奉仕が行われました。

12年連続、24回目となる活動には、中電工の54人と旭川荘職員約20人が参加。今回は紅葉が一番美しい時期と重なり、赤色や黄色の木々に囲まれながら作業にあたりました。

紅葉した木々の枝を高所作業車で伐採

ひらた旭川荘は高い木々が多いため、高所作業車での伐採は危険が伴います。中電工の皆さんは日頃の業務で培われた高い安全意識により、合図や声を掛け合いながら、きびきびと動いていました。職員もトラックで運ばれてくる木々を降ろしたり、細かく切りそろえたり、約2時間作業に取り組みました。

中電工の皆さん、ひらた旭川荘の環境保全に力を貸してくださり、ありがとうございました。

就実高生がクリスマスコンサート　岡山東RC主催　療育・医療センター

就実高校吹奏楽部よるクリスマスコンサートが、12月13日、旭川荘療育・医療センターで行われ、利用者や家族、職員約50人が、生の演奏を楽しみました。

このコンサートは、岡山東ロータリークラブが社会奉仕活動の一環として、利用者のために企画。冒頭、サンタクロースに扮した藤井一也会長より、乳児院の児童へプレゼントの贈呈もあり、和やかな雰囲気で始まりました。

就実高校の吹奏楽部は県内でも屈指のバンドで、総勢53人で伸びのあるサウンドを披露。アンサンブルのほか、踊りや男子学生の歌も飛び出すなど、多彩な演出で楽しませてくれました。利用者も体でリズムをとったり、懐かしい曲を口ずさんだり、体全体で音楽を満喫していました。

コンサートの後は、施設内を見学。高校生やロータリークラブの皆さんに利用者の生活を知っていただく機会にもなりました。

「ジングルベル」や「ふるさと」などアンコール含め計10曲が披露された

今西看護部長に「ねむの木賞」　皇后さまより労いのお言葉

長年にわたり肢体不自由児・重症心身障害児の看護、養護などに従事する女性職員に贈られる「ねむの木賞」の平成29年度受賞者に、旭川荘療育・医療センターの今西典子看護部長が選ばれました。

ねむの木賞は皇后さまが作詞した「ねむの木の子守歌」の歌詞著作権を日本肢体不自由児協会に贈ったことを記念し、昭和42年に創設。障害者施設や特別支援学校で働く看護師や保育士、教諭など4人に、毎年授与されています。

賞状を授与される今西部長（右）

同賞の贈呈式は昨年11月7日、東京都内のホテルで同協会総裁の常陸宮さまのご臨席のもとに行われ、今西部長ら4人の受賞者に賞状と記念品が贈られました。

贈呈式の後、受賞者は皇居内で皇后さまに拝謁（はいえつ）。今西部長によると、皇后さまからは労いと励ましとともに、職場の皆さんに感謝を伝えるようにとのお言葉をいただいたそうです。今西部長は「諸先輩方がつないでこられたバトンを受け継ぎ、多くの方に支えていただきながら37年間勤め続けることができた。こうした機会をいただき、感謝の気持ちでいっぱい」と話しています。

旭川荘ごよみ
SCHEDULE CALENDAR

1月

10日　成人を祝う会 …… あおば
11日　成人式 …… 旭川児童院
　　成人式 …… 旭川荘真庭地域センター
　　新成人を祝う会 …… 旭川学園
13日　平成30年度入学者面接選考 B日程 … カレッジ旭川荘
19日　1次入試・AO入試 …… 旭川荘厚生専門学院
24日　成人式 …… 望の丘ワークセンター
28日　家族会合同研修会 …… 知的障害関係施設
☆ 新年行事（初詣など）～各施設

2月

17日　療育発表会 …… みどり学園
☆ 節分行事～各施設

編集後記

ひらた旭川荘は岡山市南部において一押しの紅葉スポットです。敷地にフウやカエデの高い木々が生えており、夏には木陰を、秋には緑黄紅のグラデーションが美しい紅葉を見せてくれます。再来年度にひらた旭川荘内に保育園を開設する準備を進めていますが、子どもたちがよろこぶ姿が目に浮かびます。　（広報委員　長壽厚志）